

6 | No.578  
JUN.2019

# 茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email [info@ikk.or.jp](mailto:info@ikk.or.jp)

一般社団法人茨城県経営者協会



インタビューに応えるサンブック社・西浦社長



茨城キリスト教大学で講話するSAYコンピュータ・志賀社長



常磐大学で講話するEMMY・渡辺社長



常磐大学で講話するユニキャスト・三ツ堀社長



茨城経協

## CONTENTS

### 01 トップインタビュー Vol.37

「コンピューターシステムと物流の自動化で出版事業に貢献」

株式会社サンブック社 代表取締役社長 西浦善彦 氏

### 04 寄付講座（茨城キリスト教大学・常磐大学）講演録

- ・「地方から全国へソフトウェアを発信する」  
株式会社SAYコンピュータ 代表取締役社長 志賀利行氏
- ・「人材育成の必要性和生き生きと働く為の心構え」  
株式会社EMMY 代表取締役社長 渡辺満枝氏
- ・「学生ベンチャーの挑戦」  
株式会社ユニキャスト 代表取締役社長 三ツ堀裕太氏

### 07 会員企業の環境月間の取り組み紹介

### 11 委員会委員の方々

### 13 委員会報告

経営教育委員会

### 14 支部だより

日立支部／常陸・那珂支部／土浦・石岡・つくば支部／  
取手・龍ヶ崎支部／県西支部

### 16 新入会員の紹介

### 17 NPO情報Vol.224<茨城NPOセンター・コモンズ代表理事 横田能洋氏>

### 21 セミナー・事業案内

株式会社サンブック社  
代表取締役社長

## 西浦 善彦氏

聞き手：葛田一雄氏（ケイツーマネジメント代表）



### 会社概要

■所在地／本社 埼玉県越谷市西方3125-1

※埼玉県の越谷流通団地に、統括本部/情報サービスセンター兼ピッキングセンター【越谷ロジスティックセンター】を保有。バックヤードとして、4つの改装・大型保管倉庫、茨城事業部【圏央西浦ロジスティックセンター】【関東物流センター】【つくばロジスティックセンター】【圏央東ロジスティックセンター】と大規模な施設を備える。

■資本金／4千万円

■業種／出版倉庫、書籍他・在庫管理・物流等

■HP／<http://www.sanbooksha.co.jp/>

## コンピューターシステムと物流の自動化で出版事業に貢献

### 出版社のための、ワンストップ・ソリューションカンパニーをめざして

株式会社 サンブック社代表取締役社長 西浦 善彦氏（以下西浦社長）は、郷里富山県を誇りにしつつ、本社は埼玉県越谷市にかまえるも事業の戦略拠点をつくば市等に配置（茨城事業部）し、茨城に熱い想いを持っている。

西浦社長は実体を尊ぶ経営者であるが、文化や芸術に造詣が深い。西浦社長の脳裏には時として光と風が織りなす自然の芸術ともいえる魚津の海に像を結ぶ蜃気楼が浮かぶのではないか。蜃気楼は、大気中で光が屈折した自然現象であり、気温や風などの条件が整わないと発生しない。刻々と変わる気温や風によって蜃気楼の形も変わり、同じ蜃気楼は二度と見られない。

#### 1. 委託販売

通常の委託販売は、商品や製品の販売を、第三者に委託、代行販売を行う形態である。販売を頼む側を委託者、代行する側を受託者と呼ぶ。委託者は商品の所有権を保有したまま、受託者に委託することが出来る。受託者は受諾した商品を販売し、手数料から利益を得る。委託者は受託者へ向けて商品を発送する。商品を受け取った受託者はその商品を販売する。販売後、受託者はその後に仕切計算書（通常、仕切書という）を作成する。仕切書には売上総額、経費（販売費、保管料など）、受託者手数料、売り上げから経費等を控除した委託者正味手取額を記載する。受託者はその手取額を委託者に納める。手数料と経費は受託者のものになり、委託者が仕切書と共に手取額を受け取る。

ところが、通常の委託販売と出版業の販売方式とはいささか異なる。出版業の「委託販売」は、元々の委託販売と区別するため、返品条件付き売買あるいは返品制などという。出版社や取次（前者）から書店（後者）に商品が売却される。この際、商品の返品条件を取り決める。売買行為であるために商品の所有権は後者に移り、会計上、前者は売上を計上でき、後者は代金を支払うことになる。前者は会計上、返品に備えて返品調整引当金を必要経費として計上することができる（法人税法53条）。雑誌のうち定期刊行物については返品債権特別勘定を計上することができる（法人税基本通達9-6-4）。

商品（本）を受け取った書店はこれを販売する。一定期間が過ぎても商品が販売できなかつ

た場合、書店は返品条件に従って商品を取次に返品、つまり売却する。通常の委託販売に比べ、出版社や取次にとっては会計上有利となる。そこで、一部の出版物では、責任販売制（小学館、講談社、筑摩書房、河出書房新社、青弓社、中央公論新社、二玄社、早川書房、平凡社、ポット出版など）が実施されている。

## 2. 尋常なカノンづくり

西浦社長とのインタビューを機に、「株式会社 サンブック社は、出版社、取次、物流、書店、読者、図書館など出版の川上から川下全てに関わるパートナーである」と認識した。

「出版社が自社でカバーしにくい業務を代行するとともに、出版物流の専門企業としての立場から戦略的提案を行っている」ことの意義あるいは価値が理解できる。

「出版物は、書店で消費者に購入されてはじめて売上が成立する商品です。返品決定は書店の判断に委ねられるため、その時期は出版社には容易に予測できません。」

株式会社サンブック社は、「出版のパートナー」であることを経営上のカノンとしている。

「当社は創業当時からお客様とともに成長する“出版のパートナー”を標榜しそれぞれの出版社にとって最適なサービスを提供してまいりました。」

西浦社長の経営哲学は尋であり、常ではなかろうか。尋（じん、xún）は中国古代の長さの単位である。元々は、大人が両手を一杯に広げた長さとして定義された身体尺である。尋（じん）の2倍の長さにあたる「常」

（じょう）という単位も用いられていた。尋と常を組み合わせて「尋常」という言葉が出来た。「尋常」は並み、普通であることを意味するが、経営者の中には奇をてらう手法を駆使する人物もいるものの、尋常な経営こそ最も重要な経営方針であるし、健全経営のための道標である。

西浦社長は本の販売方式のみならず、出版事業の異形の委託販売方式である返品条件付き売買あるいは返品制に着目して、出版事業のパートナーを標榜し、「基準づくり」に着手したのである。基準とはものごとの基礎となる標準をいう。基準が必要な理由は、比較して考えるための拠り所になるからである。

基準には目安、尺度などの意味もあるが、英語にも、いくつかの表現がある。Standard／判断、比較のための基準である。moral standards（道徳的基準）などと使う。Criterion／判断、評価のための標準、基準および尺度である。Basis／知識、体系の基準を使う。Normal／基準以下、基準以上などと使う。Canon／行動や思想などの規範や規準である。Bench mark／価値判断の基準である。

## 3. 成功への架け橋

「返品された本はブックカバーや帯などの装丁が改装され、新品とほぼ同様の状態となり、再び出荷を待ちます。」

西浦社長は商品（本）の品質にこだわりがある。品質とは、「本来備わっている特性の集まりが、要求事項を満たす程度」とISO 9000は定義している。qualityは高級や上質、すばらしいという意味がある。カタカナ英語としてのクオリティはその意味で使われることが多い。広義の品質（quality）は非常に広範な概念を含む語であり、一概に定義づけることは難しいが、おおよそ、提供される製品やサービスについて、買い手側である顧客（消費者）が求める特性との合致度と考えられる（合致度が高ければ品質が高いといわれる）。また、上質、すばらしい、高級と消費者が感じれば品質が高いと考えられる。

成功が何を意味するのか明確な定義がなければ、成功を語ることはできない。経営者にとっての成功には、顧客の期待を満たす商品づくり必須であるが、事業全体を成功に導くためには、「事業を遂行する」ことが何を意味するのか、正確な意味付けを



左 聞き手の葛田氏 右 西浦社長

する必要がある。

インタビューを通じて、西浦社長の事業の成功には、西浦社長自身の行動が直結しているように思える。気配り行動をする、事前に所要時間を知らせて、その時間内に実行する、状況を客観的に観察して把握する、共感していることを表現する、状況に見合った行動をする、粗相があった場合に印象に残るような形で挽回する、手順や方法を社全体で共有する、不満や苦情を解決するために適時・適切・迅速に対応する、必要不可欠という観点から行動する。

#### 4. 3つの「CO」実践

出版事業のパートナーとしての役割を遂行するためには、技術サポートおよび対人関係を良好にすることが欠かせない。技術によるサポートの主要な1つが、自社開発の『マテハン機器』を駆使して、書籍物流の機械化、自動化の推進である。他社に先駆け様々な業務の無人化、効率化を実現し、独自の技術で特許を取得した。また、コンピュータによるネットワークづくりは必須な経営課題である。サンブック社のサンブックを英字表記すると、sanbookであるが、コンピュータ用語の1つにSAN



がある。Storage Area Network (ストレージエリアネットワーク) のことである。SANとは、複数のコンピュータとストレージ (外部記憶装置) の間を結ぶ高速なネットワークのことであり、ハードディスクや磁気テープなどのストレージ装置と、サーバなどのコンピュータを繋ぐネットワークで、専用のプロトコル (通信規約) や機器、配線などを用いて構築されている。

パートナーとしての対人関係を良好にするためには、とくに、Communication、Cooperation、Coordinationの3つが求められる。Communicationは、パートナー間での報告、連絡、相談であるが、特に大切なことは、連絡である。何を、何時、誰に、誰が、どのように行うのかを明確化する必要がある。Cooperationは、パートナーそれぞれが役割を認識することが重要である。役割を認知し、役割どおりに業務を行い、役割どおりに遂行できたかを評価しなければならない。Coordinationは調整である。乖離をあるべき姿に戻すことであるが、正しい乖離であるとしたらあるべき姿を再検討あるいは吟味して、必要の度合いに応じてあるべき姿を修正する。

#### 5. 先ず隗より始めよ

中国の戦国時代、燕の昭王は天下の人材を集めようと思いつき、有能の士である郭隗にその方法を尋ねた。郭隗は「今、王、誠に士を致さんと欲せば、先ず隗より始めよ」と述べた。「今から、王がほんとうに天下の人材を集めたいと考えるなら、この私、隗の採用しなさい」と言ったのである。「自分のように凡



庸な失敗の多い人物であっても採用されるのなら、私以上の人は進んで応募するでしょう」と述べた。かくして王は郭隗を採用し、その果敢な決定を知った天下の人材が、昭王君のもとに、こぞって集まったという。「経営者」の条件として、先ずみずからが行動してやってみせることが大切であるとよく言われている。山本五十六提督の言葉がある。「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。」

西浦社長は、先見性を持って経営を実践してきた。経営者は、「先憂後楽」といわれるように、社員よりも将来のことをつねに先へ、先へと考えて行かなければならない。しかし、一人よがりになり、自分だけで独走したり、孤立したりしては、なにもならない。経営とは、「それは当たり前のことを実行することである」(松下幸之助)。

西浦社長は、「出版のパートナー」を事業領域とし、社員を真摯で誠心な行動に駆り立て、企業を業界のリーディングカンパニーに押し上げた。本が持つ知の力ひいては本が人間を成長させるツールと信じて、尋常なカノンづくりを通して、株式会社サンブックの価値を押しも押されもしない事業意義のある品格を有する企業に高めた人物が西浦社長である。

## 地方から全国へソフトウェアを発信する

株式会社SAYコンピュータ 代表取締役社長 志賀 利行 氏



当社、株式会社SAYコンピュータは2004年4月に設立、本社はひたちなか市に所在するほか、東京・秋葉原にオフィスを設けています。社員は現在31名で、主な業務内容として、ソフトウェア開発から商品の販売、保守業務を中心に事業展開しています。

具体的には放射線監視システムや運転日報管理ソフトなど社会インフラを支える製品“Seeシリーズ”の開発や、スマートフォンなどモバイル端末を活用した業務用アプリケーションの開発を進めています。最近では大きな束になっている鉄筋の本数をスマートフォンで撮影し、その画像から正確な本数をカウントする“Eyeシリーズ”が好評です。

私が商品を開発する上で大切に行っている事業コンセプトは「現場をスマートにする」です。

製品開発のヒントは、現場に埋もれています。従来の業務が今まで以上にスピーディに、そして利便性が高まるのであれば、それは新たな製品開発のヒントに繋がるのです。

当社のお客様は日本全国31都道府県にいらっしゃいます。当社の製品・サービスを購入頂いているお客様であったり、製品の受託開発をご依頼頂いたお客様であったり、お陰様で取引数は年々増えており、サポート台数は約4,000台、108社の法人様にお取り引き頂いています。

会社設立当初は、なかなか商品が売れずに苦労した時期もありましたが、転機となったのが偶然参加したジャパネットたかたの高田明元社長のセミナーでした。そこで講師の高田氏から“伝わらなければ、伝えていないのと同じ”とのお話を伺い、大変感銘を受けました。

以降、自社のHPをリニューアルして多くの皆様にアクセス頂く工夫をしたり、東京などで実施される展示会への出展も積極的に行うことで、徐々に当社を知って頂けるようになり、問い合わせも増えていきました。

当時、なぜ事業がなかなか軌道にのらなかったのか振り返れば“自分たちで限界を作っていた”ように思います。やるべきことは、現状の課題を一つ一つ解決し、毎日精進して前向きに進むことであり、その積み重ねなくして物事が上手く進むことはないのだと改めて感じています。

最後になりましたが、学生の皆さんにはこれからの学生生活において「何かを $+\alpha$ して、形にする・変えてみる」ことにチャレンジして頂きたいのです。身の回りのことでも良い、これまで些細なことに思っていたことでも、視点を変えて“ $+\alpha$ ”することで、これまでとは異なる視野が開けてくるのではないのでしょうか。

皆さんが有意義な学生生活を送り、社会で活躍されることを祈念するとともに、私も自分の夢“お客様に喜ばれて地方から世界と繋がり社員、地元へ勇気を与えたい”を実現するために、日々努力をし続けて参ります。

## 「人材育成の必要性と生き生きと働く為の心構え」

株式会社EMMY 代表取締役社長 渡辺 満枝 氏



現在、進められている働き方改革の目指すものは、働く人の視点に立って労働制度の抜本的改革を行い、企業文化や風土も含めて変えようとするものである。働く一人ひとりが、より良い将来の展望を持ち得るようにする。日本が直面する課題は、少子高齢化で生産年齢人口の減少と、働く人々のニーズの多様化である。女性やシニアの活躍、外国人の雇用拡大、AI・IoT・5Gの活用が進められている。同時に、生産性向上を目指し、その成果を働く人に分配して、生活の質的向上が求められている。

これに伴い、サービスのしくみや提供の仕方も変わってきている。固定オフィスをなくす企業や、遠隔地で仕事をする上司と部下、無人店舗、支払方法の変化、小売業のデジタルトランスフォーメーション、ドライブスルーの薬局、書籍を読んでく

れるサービス、カーシェアリングなどである。

このような変化が激しい時代の中で活躍するために、学生時代に養ってほしい3つの要素は、「感性（目が利く、気が利く、身体が利く人になる）」、「コミュニケーション力（人とうまくやれる力・表現力）」、「創造性（付加価値の高い商品・サービス・仕組みを生み出す発想力）」である。

今後10年で、49%の仕事がAIにとって代わられると予測されていることを踏まえ、AIにできないこと、自分なりの感想・考えを持つことが大切である。そのうえで、社会人になって専門的な知識・技術を早く身につけ、一日も早く戦力になってもらいたい。社会人としてのスキルは様々あるが、学生時代にも是非、磨いてもらいたいことは語学能力である。

また、採用試験も変化してい

る。自己PRを動画で行ったり、スカイプで面接試験をしたり、英文で自己PRしたり、インターンシップで人柄チェックをする企業が現れている。エントリーシートの課題も難しいものがあり、自分の考えをしっかりと持っていないといけない。就職戦線で勝ち抜くために、第一印象を良くする必要がある。第一印象は見た目が55%、声・話し方が38%、話の内容は7%である。第一印象で好感をもたれるための要素として見た目については“表情（笑顔）・視線・あごの角度・身だしなみ（清潔・上品・控えめ）・動作・仕草”、声・話し方については“明るさ・パワー・明確さ・メリハリ・言葉癖”をよくするように工夫すべきである。

いきいきと働くために、適職をみつけてもらいたい。そのためには、自分自身をじっくりと見つめ、“強み・弱み”、“何をしている時が楽しいか”、“何が得意かを考え”、友人・先生のアドバイスを素直に聴き入れながら、自己の価値観を明確化していくことで、好きな仕事・自分に合った仕事をみつけてもらいたい。

夢のない人に成功者はいない。人は誰でもなりたい自分になれる。そのためには、「強く思うこと」「文字にすること」「人に宣言すること」が大切である。

## 「学生ベンチャーの挑戦」

株式会社ユニキャスト 代表取締役社長 **三ツ堀 裕太** 氏



みなさんは、夢を語れますか。私は幼少期に、当時大人たちがロールプレイングゲームソフトを買い求めるために行列までつくる光景を見て、そのソフトがそれほどの感動を与えることができることを知り、「人に感動を与えられるようなシステムエンジニアになる」という夢を持ちました。この夢を実現するために、大学生のうちにシステム開発のアルバイトをして経験を積み、会社に入社直後から第一線を目指そうとしました。しかし当時、システム開発のアルバイトなどなく、とはいえ就職するまではとても待ちきれないため「アルバイトがないなら、自分で会社を作ればよい」と考え、23歳で起業しました。

当社は、「テクノロジーを通して“驚き”と“感動”を創造し、人々の“夢”と“笑顔”を支えます」というミッションを掲げ、その元にクライアントワーク

事業、インフラ事業、自社サービス事業、CSR事業を展開しております。

当初は、「ITビジネスは、ネット環境さえあればどこでもできる」と考えていましたが、良い人財を得るには、独自性が必要であることに気がつきました。そこで、コーポレート・アイデンティティを明文化したり、管理者不要の自律分散型の組織づくりを行ったりしました。仲間の「ありがとう」が循環するシステムや、インターンシップ前提の採用制度もつくりました。

当社の採用制度は、お見合い結婚（既存の新卒採用モデル）だけでなく、恋愛結婚（インターン採用モデル）もあります。一番の目的は、「人と企業のミスマッチを減らすこと」、3年以内に辞める人が多いのは、“ゆとり”だからでも“ブラック”だからでもないのでは、ないでしょうか。当社の採用基準は良

い意味で「変わり者かどうか」です。もちろん笑顔で元気に挨拶ができたり、時間や約束が守れるということは、人としての大前提ですが、オリジナリティのある人にとっても魅力を感じます。

働く意義を考えるには、まず人生について考える必要があると思います。人間に残された時間は、 $(\text{平均寿命} - \text{現在の年齢}) \times 365 \text{日} \times 24 \text{時間}$ 。この限られた時間を、自分が生きた証を残し、DNAを残し、思想を残し、誰かを幸せにし、社会をちょっぴり良くするために使っていきたいものです。「人生」を生きている時間と考えれば、日々をいかに満足に送れるかで人生の満足度が決まるのかもしれませんが。そのため、睡眠、仕事、プライベートなどについて、定期的に自己採点していくとよいと思います。

また、「働く」とは簡単にいえば「お金を稼ぐこと」ですが、「お金」は「感謝」を数値化したものであり、「感謝」とは「幸せ」を作ることで得られるものです。つまり、「働く」とは「幸せを作ること」なのです。

結びに、学生時代に大切なのは「行動力」。“反省”だけでは何も変わらない、“批判”したって誰もあなたに振り向かない。見えない“何か”に遠慮したりせず、夢を語り、勇気を持って、精一杯やりたいことをやりましょう。

## 環境月間の取り組み紹介

会員企業の皆様も、期間中に様々な環境事業を展開しています

6月5日は環境の日です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」(平成5年)が「環境の日」を定めています。

「環境基本法」は、事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるという「環境の日」の趣旨を明らかにし、国や地方公共団体等において、この趣旨にふさわしい各種の行事等を実施することとしています。

本年も環境月間中に実施されている事業につきまして、会員企業より情報提供いただいた活動をご紹介します。

### ■■ 環境委員会、環境研究会 企業の主な行事 ■■

(社名50音順)

#### ▽茨城サービスエンジニアリング (北茨城市)

①5/13～「クールビズの実施」：軽装によるエアコン室内温度28℃の徹底、②5/19「環境美化運動への参加」：北茨城市内の環境美化運動(清掃活動)に参加

#### ▽カスミ (つくば市)

①6/1～6/30「本部資源回収キャンペーン(ペットボトル・アルミ缶・古紙)」：本部内部署別対抗でペットボトル・アルミ缶・古紙の持ち込みキャンペーンを行う、②6/1～6/30「全店従業員古紙回収(新聞・雑誌)」：60店舗で行っている店頭古紙回収を環境月間に限り、全店従業員から古紙を回収する

#### ▽キリンビール 取手工場 (取手市)

①6/1「環境月間トップメッセージの掲出・共有」：環境月間についてのトップメッセージの掲出しメンバーに共有、②6/1～6/30「空調機フィルター清掃活動」：夏場に向けて、各空調機の室外機及びフィルターの清掃を行う、③6/20「工場周辺道路清掃活動」：取手市里親制度に基づき、工場周辺道路のゴミ除去・草刈り・落葉清掃を実施

#### ▽倉持産業 (常総市)

①5～7月「環境負荷削減の設備の導入と自社の削減データを調査し、関係企業様に提案」：直営農場40万羽の鶏の飲み水に水のクラスターを小さくする装置を設置、鶏の健康改善と臭いの削減を行った、ボイラーのエネルギー(灯油)削減装置の設置予定、夏までに養鶏場、工場の屋根に断熱塗料の塗布を完了する、②5/25「econetいばらき」に所属し、環境イベントに参加、地域パートナーシップを形成」：地球温暖化防止推進員グループ「econetいばらき」に所属、年間を通しCo2削減に向けた啓発や省エネ講座や学習会を実施、第14回こども環境フォーラム(県立青少年会館)に参加、こども達の環境活動の推進やエコ工作のボランティア活動を行う、③5/27～6/3「ごみゼロの日にちなみ、ゴミの削減、リサイクルの有効活用を呼びかける」：ごみゼロの日ののぼり旗を会社前の道路に設置(5/28～6/1)、ごみゼロの日にちなみゴミの削減・リサイクルの有効活用を呼びかける、スタッフが周辺道路のゴミ拾いをし、ゴミの削減、リサイクルの有効活用をPR(のぼり旗、たすき、ポスターの作成)、また、社内の環境整備期間とし、特に夏前の空調の清掃を行う(5/30)、④6/1～9/30「2019倉持産業“夏の省エネ大作戦”社内の省エネ活動の啓蒙」：夏の省エネ対策ポスターを各事業所に貼り、省エネ活動の啓蒙をする、電力使用量比較グラフ



を事業所毎に掲示(省エネを開始した2011年度と2018年度比較)、削減の努力結果が目に見えるようにする、本年度の新たな省エネの意欲を促す、また、暑さ対策として、個々が体感温度を下げる、クールビズや、保冷グッズの使用、うちわの使用等を促す、⑤6/2「水戸市環境フェア」に倉持産業のブースを出展、企業として環境負荷削減を推進:地球温暖化防止活動環境大臣・低炭素杯2018企業部門環境大臣賞金賞を受賞した“鶏にも人にも優しい”会社の平飼いたまごの販売、2018堆肥コンクールで金賞・県知事賞を受賞した100%リサイクルの臭いの少ない鶏糞・卵殻カルシウムのPR、洗剤を使わない未来の為の洗濯の推進、洗濯マグちゃんの販売を行う、たまごの工作のワークショップも催す、企業として環境負荷削減を推進する

#### ▽小松製作所 茨城工場 (ひたちなか市)

①5/23「国営ひたち海浜公園生物多様性活動」:新入社員を中心に約20名で公園ボランティアの方々とともに除草や土づくりなどの植生の保全活動に参加、社会活動とともに社員の環境意識向上を図る、②6月上旬「工場内安全パトロール」:6月度テーマとして廃棄物の分別・危険物や有機溶剤の保管状況の確認を実施、③6月下旬「工場各職場の環境推進者への教育・情報展開」

#### ▽積水ハウス 関東工場 (古河市)

①5/1~10/31「クールビズの推進」:5月1日~10月31日までの期間でクールビズ(ノーネクタイ)を活用した省エネを図る(冷房エネルギーの抑制)、②6月初旬「グリーンカーテンの実施」:ゴーヤやキュウリの苗を植えて、夏季までにグリーンカーテンを育てることで室内温度抑制により省エネを図る(冷房エネルギーの抑制)、③「工場周辺清掃」:工場周辺道路や公園のゴミ拾いを従業員が行うことで、美化活動及び社会貢献活動をする、④「照明LED化」:第一工場出荷倉庫の照明を水銀灯からLED化する事で省エネを図る、環境月間期間内の完成を予定、97.65t-Co2/年削減を見込んでいる、⑤「地下水ポンプの運転見直し」:従業員の環境提案から地下水ポンプを24時間運転から、設備稼働時間のみ運転するように変更する事で電力の省エネを図る

#### ▽ニコン 水戸製作所 (水戸市)

①4月「環境フォトコンテスト募集」:テーマ“私が見た環境SDGs”、②6月「社内報」:担当役員挨拶等掲載、③6/2「水戸市環境フェア」:出展“ミクロの世界を覗いてみよう!”、④6/5「環境セミナー」:社長講演“ニコンの環境に対する姿勢(仮)”、環境委員長講演“ニコンの環境への取り組み(仮)”、外部講師講演“講演者SDGパートナーズ代表取締役CEO 田瀬和夫様”、⑤6/5「環境表彰」:環境活動に対して貢献があった職場・グループ・個人の表彰、⑥7月「内部環境監査」:ISO14001に基づく内部監査を実施

#### ▽日和サービス (日立市)

①3/12~3/15「2019NEW環境展見学会」:最新の環境情報を収集するとともに、今後の業務遂行に役立てるため、環境月間開始前の取り組みとして東京ビックサイトで開催される「2019NEW環境展」見学会を実施、②5/1~9/30「クールビズの推進」:冷房温度は室温28度を目安に適切な温度に設定し、軽装(ノーネクタイ、ノー上着)で執務、③5月末~9月末「グリーンカーテン活動」:各拠点でグリーンカーテンを実施し、室温を3~5℃程度低減させる取り組みを実施中(自然の効果を活用し冷房機器の使用に頼らず、夏の暑い日を快適に過ごすことを狙った取り組み)、④7/20「エコフェス2019出展」:日立市主催、市民・事業者・行政が協働して環境都市にふさわしいまちづくりを推進するため、当社が行っている環境事業・日立グループ環境ビジョン・小型家電品分解(リサイクル)について来場者へ紹介、⑤通年「工場・オフィスでの節電」:業務の効率を上げ、早めに帰宅することで照明・空調を消す、また、使用していない照明や機器の電源をOFFにする(PCなどの待機電力の削減含む)

#### ▽日本製鉄 鹿島製鉄所 (鹿嶋市)

①6/1~6/30「環境管理強調月間」:本月間では、環境に関する管理において、非常時対応、日常管理の実践力向上及び環境美化と共に従業員の意識向上を目的として、下記②~④を行う、②6月末まで「廃棄物管理方法の教育」:製鉄所内従業員を対象に、廃棄物の管理方法について教育を行い知識を共有化することで、管理層~現場第一線までの環境保全実践力の醸成、

向上を図る。また、廃棄物置場等の管理状況を把握し、廃棄に関するトラブルの未然防止を図る、③6/5「製鉄所構内、構外周辺の美化活動」：6月5日世界環境デー、茨城県地球環境保全行動の日に合わせて、製鉄所構内外のごみ拾い美化活動を実施し、地域美化と共に環境意識の向上を図る（1971年（昭和46年）から毎年継続実施）、④6月下旬「排水管理強化」：水を扱う関係工場において、非常時の排水停止訓練を行い、標準に則った運用の確認と必要に応じた見直しを実施し、排水事故トラブルのリスク低減を図る

#### ▽日立オートモティブシステムズ 佐和事業所（ひたちなか市）

①5月～9月「クールビズの推進」：日立グループ節電運動推進および環境長期目標“日立環境イノベーション2050”を推進しており、その一つとして以下を実施。冷房温度は室温28度を目安に適切な温度に設定し、軽装（ノーネクタイ、ノー上着）で執務、お取引先の皆様にも軽装などでの来社を要請、②5月～9月「グリーンカーテンの展開」：つる性の植物（ゴーヤ等）を育成し、グリーンカーテン効果で室内温度抑制による省エネ活動を実施、各部門と従業員へ苗配布し、構内各所および従業員宅への拡大実施、ひたちなか市福祉施設“つだ保育所”にて、園児へ苗の植付け指導・設置を行い共同育成による拡大実施、③6月下旬「場内廃棄物置場の巡視」：工場内各建屋の廃棄物置場を置場管理責任者の立会いのもと、管理状況の点検実施、繰返し巡視することにより分別・5S・明示板などの管理の必要性・意識および管理レベルの維持・向上を図る、④6月下旬「環境活動先進事業所見学ツアー」：従業員一部により、近隣事業所の環境関連施設見学ツアーを実施し、省エネ等の施設を多種かつ積極導入している工場を見学、⑤6月下旬「工場周辺清掃」：工場周辺・駐車場のゴミ拾い清掃による美化、構内従業員に参加呼び掛けし、多数のボランティア協力者にて実施、⑥6月下旬「環境クイズ」：環境関連の工場内運用ルールおよび一般的知識の出題キャンペーン展開、従業員にて回答挑戦による廃棄物等運用ルール浸透およびエコマインドの醸成・活性化にて実施

#### ▽日立製作所 日立事業所（日立市）

①3/12～6/10「環境特定施設の総点検」：各職場にて大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の環境特定施設を総点検し、環境への影響が無いよう管理状況を確認する、②6/1～6/30「環境月間ポスターの掲示」：環境の日及び環境月間を従業員に周知するため、環境省の環境月間ポスターを門に掲示する、③6/3「環境月間朝礼」：各職場一斉に環境月間の朝礼を実施し、従業員の環境意識高揚を図る、④6/5「環境メッセージの放送」：環境の日を迎えるにあたり、事業所長メッセージを構内放送する、⑤6月上旬「河川清掃」：山手工場近くの宮田川周辺を清掃する、⑥6/11「通勤通学道路の清掃」：国分工場周辺の通勤通学道路を近隣の高校生と合同で清掃する、⑦6月中旬「事業所幹部による環境巡視」：環境リスクが高い設備等について事業所幹部による巡視を行う、⑧7/20「日立市主催のエコフェスひたち2019に出展（予定）」：省エネや廃棄物分別など、体験を通して子どもから大人まで楽しめるブースを出展予定

#### ▽日立ライフ（日立市）

①4月～「全社一斉ノー残業デーの実施」：ワークライフバランスの向上及び省エネを目的として、毎月1日、全社一斉ノー残業デーを設定（本社では事務局による定時間後の巡回を実施）、②4月～「働き方改革」：長時間労働の是正及び省エネを目的として、21時以降の残業は原則禁止、TV会議システムを13拠点で活用し、移動時間及び公用車のガソリン使用量を削減、③4月～「省エネ設備の採用（LED照明）」：フィットネス施設やフットサル場及び本社事務室の照明交換時に、LED照明を採用、④5月～「グリーンカーテンの推進」：日立ライフグループ各拠点にてグリーンカーテンを実施し、室温を3～5℃程度低減させる取り組みを実施、⑤5/1～9/30「室温目安28℃とした冷房設定及びクールビズ実施」：室温設定28℃ 目安のオフィスで快適に過ごすことを目的として、止むを得ない場合を除き、原則として軽装（ノーネクタイ、ノー上着）での執務を推奨、⑥6月「環境クイズ（予定）」：イントラネットを利用し、従業員及びその家族を対象に環境クイズを実施し、楽しみながらエコマインドを向上させる機会を提供する、⑦6月～「日立ライフグループ環境報告書の発行」：日立ライフグループの環境

活動や環境関連事業を紹介、改訂は年1回（6月）を予定、⑧7/20「日立市主催“エコフェスひたち2019” 出展（予定）」：市民、事業者、行政が協働して環境都市にふさわしいまちづくりを推進するため、広く環境情報を提供し、環境への意識の高揚を図ることを目的とし、日立市主催で『エコフェスひたち2019』が開催される、日立ライフグループ3社が協力して出展し、環境配慮事業、環境貢献への取組を一般市民へPRする予定

#### ▽ぺんてる・茨城工場（小美玉市）

①6/1～6/30「2018年度環境目標の実績及び2019年度目標の掲示」：昨年度の環境目標（CO2、電力、水、燃料、紙、廃棄物、リサイクル率、エネルギー消費量）の達成状況と今年度の目標値を掲示し、全従業員の環境保全活動への自覚と更なる推進を啓蒙する、②6/1～6/30「花いっぱい運動の推進、緑のカーテンによる冷房設定温度の1℃引き上げ」：自部署周辺の花壇の整備実施。併せて夏季暑さ対策の為、窓際にアサガオやゴーヤの苗を植えて、直射日光を遮り冷房設定温度を1℃上げる、③6/1～6/30「エアコンフィルター清掃デー」：毎週金曜日はエアコンフィルター掃除の日、④6/1～6/30「ディーゼルコンプレッサの清掃」：夏季のピーク電力（平日昼間の電力）消費を削減するため、ディーゼルコンプレッサの清掃を行う、⑤6/1～6/30「エア漏れ設備の表示」：エア漏れのある設備に表示プレートを提示し、エア洩れ修理が完了するまでは、その設備が不稼働の時はエアを遮断させる、⑥6/1～7/3「環境保全活動壁新聞募集と掲示、テーマは環境関連全般」：各部署のQCサークル単位での環境保全活動に関する壁新聞を募集し、優秀な壁新聞については賞を与えるとともに掲示板に掲示する、⑦6/19・24「工場内環境パトロールの実施」：工場内の環境側面について環境管理責任者によるパトロールを実施し、不具合については是正処置を実施する、⑧6月随時「空調機・チラーの清掃点検」：各現場の空調機等の清掃・点検を実施、夏場の電力消費の効率化を図る、⑨6月上旬「ホテル観賞会」：随時実施、⑩6月予定「全社員工場周辺のゴミ拾い」：工場周辺の道路、側溝、林、運動公園、バス停などに捨てられているゴミや空き缶の収集実施、⑪6月予定「合同朝礼による環境保全啓蒙」：工場全体の

合同朝礼時、環境保全活動についての啓蒙教育の実施、エコチェックシートでの全従業員への環境保全への意識付け、⑫9月期「排水管の清掃」：各職場の排水管の清掃の実施、⑬3月期「雨ドイの落ち葉除去」：作業の安全を充分確保した上で、各職場の雨ドイ、屋根部分の雨水排水口等の落ち葉の除去、清掃

#### ▽リーテム（東茨城郡茨城町）

①通年「クールビズ・ウォームビズの実施」：クールビズの実施（ノーネクタイ可等とするビジネス軽装の実施）地球温暖化対策の一環として、2005年から政府が提唱する冷房時の室温28℃を目安に夏を快適に過ごすライフスタイル、ウォームビズの実施、暖房時の室温を20℃で快適に過ごすライフスタイル、②6/3「水戸市“環境フェア”への参加」：環境改善・リサイクルについての啓蒙活動、並びに廃小型家電の回収を実施、③6月「構内環境パトロールの実施」：毎月の定期構内安全パトロールに合わせ、6月は環境面での巡視を実施し、省エネや環境保全につなげて行く計画、④6月「市民や学生の工場見学会」：弊社東京工場では修学旅行で東京を訪れる学生や市民団体等を対象にリサイクルの工場の見学会を実施し、合わせて地球環境の現状やリサイクルの大切さなどわかりやすく説明します

#### ▽レンゴー 利根川事業所（坂東市）

①5/1～10/1「クールビズの実施」：室温が28℃でも快適に過ごせるように、ノーネクタイ・ノージャケットなどのクールビズを励行、②5月末「環境ポスターの配布」：6月から始まる環境月間についての周知と、クールビズを活用した省エネを励行する、また、使っていない照明の消灯やパソコン・プリンターのシャットダウンも呼びかける、③6月中毎週「廃棄物置き場のパトロール」：ごみゼロの日（5/30）を初日に、ごみ減量・リサイクル推進週間として廃棄物置き場をパトロールして分別の徹底を促す、④6月中毎週「工場周辺のクリーン活動の実施」：工場前道路の清掃、⑤毎月「環境マネジメントシステムのパフォーマンス確認」：環境委員会（毎月開催）において、省エネ・節水・CO2排出量などを前年比ベースで確認する

# 委員会委員の方々

当協会では、各委員会委員の任期満了に伴いまして、下記の方々に各役職を委嘱をしました。(任期は2年、敬称略)(2019年6月1日時点)

## 総務委員会

委員長	西野 英文	(株)常陽銀行常務取締役
副委員長	村手 俊之	(株)日立製作所ビルシステムビジネスユニット総務部長
副委員長	平田 章	JX金属(株)日立事業所副所長兼総務担当部長
委員	大高 利夫	(株)中村自工深川製作所常務取締役
〃	小林 英雄	(株)シーアンドエーソリューション代表取締役
〃	柳沼佐千子	印象エキスパート(株)代表取締役
〃	幡谷 信勝	茨城県信用組合副理事長
〃	小橋 昭弘	水戸信用金庫常務理事
〃	秀 洋一	大和ハウス工業(株)茨城支社長
〃	木村伊知郎	(株)筑波銀行常務取締役
〃	谷口 啓介	キャノン(株)人事部取手人事部長
〃	石川喜代江	関彰商事(株)総務部長兼秘書室長
〃	佐々木政彦	結城信用金庫常務理事
〃	久保 英士	日本製鉄(株)鹿島製鉄所総務部人事総務室長

## 労働企画委員会

委員長	曾根 徹	(株)日立製作所日立事業所副事業所長
副委員長	杉田 尚弘	東日本電信電話(株)茨城支店企画総務部長
委員	石山 伯夫	(株)マルト管理本部取締役副本部長
〃	平田 章	JX金属(株)日立事業所副所長兼総務担当部長
〃	吉岡 浩司	日立グローバルライフソリューションズ(株)勤労オペレーショングループ部長代理
〃	城戸 克典	日立金属(株)機能部材事業本部茨城工場総務部主任
〃	柳橋 一明	株木建設(株)茨城支店管理部次長
〃	渡邊 敏幸	(株)カスミ人事企画担当マネージャー
〃	鈴木 篤	関東鉄道(株)総務部長
〃	駒橋 達也	(株)キャリアプラス代表取締役
〃	吉原 祐二	(株)ケースホールディングス執行役員管理本部人事部長
〃	佐々本良二	(株)ササモライフアシスト代表取締役
〃	渡邊 誠	関彰商事(株)ヒューマンケア部長
〃	萩原 慎二	弁護士法人萩原総合法律事務所代表
〃	西村 修	レンゴー(株)専務執行役員利根川事業所長
〃	築瀬 剛	日本製鉄(株)鹿島製鉄所労政人事室室長
〃	藤枝 正泰	(株)笠間自動車学校代表取締役

## 経営教育委員会

委員長	植木 誠	(株)筑波銀行取締役会長
副委員長兼中小企業部会長	皆川 雅彦	社会保険労務士法人葵経営代表社員
副委員長	倉持 一彦	倉持産業(株)代表取締役
委員	坂本 英治	茨城ブレィティング工業(株)代表取締役会長
〃	村田 文彦	(株)五浦観光ホテル代表取締役副社長
〃	煙山 弘	日立精錬(株)代表取締役
〃	西野 信弘	(株)西野精器製作所代表取締役
〃	須田 勝	(株)ひたちなか健康スポーツコミュニティセンター代表取締役
〃	根岸 孝雄	(株)大塚製作所取締役会長
〃	檜村 大輔	東日本電信電話(株)茨城支店副支店長
〃	飯村 泉太郎	(株)常陽産業研究所取締役フェンド事業部長
〃	長田 華子	茨城大学人文社会科学部准教授
〃	高橋 弘明	(株)サンテ代表取締役
〃	藤本 昌宏	(株)ヴィオーラ代表取締役
〃	青木 正紀	アオキ(株)代表取締役
〃	沼尻 満男	日本スポーツ振興協会理事長
〃	川上 洋	川上商事(株)代表取締役
〃	林 義和	キリンビール(株)取手工場総務広報担当部長
〃	塚田 長剛	常総ビル整美(株)代表取締役
〃	倉持 一彦	倉持産業(株)代表取締役
〃	峯 亮	(有)峯商店代表取締役
〃	根本 裕一	県西法律事務所代表
〃	埴 正明	ハナワ物流(株)代表取締役
〃	須鎌久美子	(株)ユニゾンモバイル取締役総務部長
〃	中尾 弘幸	日鉄ビジネスサービス鹿島(株)取締役総務部長

## 地域関係委員会

委員長	松本健一郎	東日本電信電話(株)茨城支店長
副委員長	豊崎 繁	茨城いすゞ自動車(株)代表取締役社長
特別委員	岩佐 淳一	茨城大学教育学部教授
委員	稲川 修	(株)日立製作所日立事業所総務部庶務課長
〃	河西 隆史	(株)日立ライフ取締役流通サービス本部長総務部長
〃	横田 能洋	茨城NPOセンター・コモンズ代表理事
〃	遠藤 隆光	茨城交通(株)常務取締役
〃	大木 慈郎	(株)JTB水戸支店営業二課課長
〃	中山 眞矢	(株)眞建築設計室代表取締役
〃	綿引 誠	全国農業協同組合連合会茨城県本部管理部長
〃	梅澤 秀樹	(株)デベロ取締役統括営業本部長

地域関係委員会	委員	大森 佳軌	日本原子力発電(株)茨城総合事務所所長
	〃	小川 郁夫	東日本旅客鉄道(株)水戸支社総務部企画室長
	〃	飯村 次男	水戸信用金庫理事・営業統括部長
	〃	内藤 学	水戸ヤクルト販売(株)代表取締役社長
	〃	松崎 秀之	(株)カスミコンプライアンス統括室リスクマネジメントマネージャー
	〃	山崎 吉久	日立建機(株)開発生産総務センタ総務グループ部長代理
	〃	清水 隆司	(株)めぐみ代表取締役
	〃	箕川 達也	日立化成(株)下館事業所総務担当部長
産業政策委員会	委員長	鈴木 康夫	(株)小松製作所執行役員生産本部茨城工場長
	副委員長	水出 浩司	(株)日立製作所電力ビジネスユニット日立事業所総務部長
	副委員長	茅根 務	(株)常陽産業研究所取締役社長
	委員	深澤 正勝	日立セメント(株)常勤監査役
	〃	小川 幸則	小川産業(株)代表取締役
	〃	河西 隆史	(株)日立ライフ取締役流通サービス本部長総務部長
	〃	西野 一	(株)ニシノ清塗工会長
	〃	横山 茂樹	(株)小松製作所茨城工場総務部長
	〃	増山 弘	株木建設(株)取締役常務執行役員
	〃	長谷部 一男	昭和建設(株)代表取締役会長
	〃	越智 悟	(株)筑波銀行代表取締役専務
	〃	明智 健太郎	明和電気(株)代表取締役社長
	〃	飯田 憲一	常陽建設(株)代表取締役
	〃	湯本 祐一	関彰商事(株)取締役常務執行役員
	〃	有田 進之介	日本製鉄(株)鹿島製鉄所総務部長
	産業政策委員会 会員ニーズ調査部会	部会長	水出 浩司
副部会長		小川 幸則	小川産業(株)代表取締役
副部会長		坪山 則夫	関彰商事(株)ビジネスソリューション部第1統括副部長
部会員		明智 健太郎	明和電気(株)代表取締役社長
〃		河西 隆史	(株)日立ライフ取締役流通サービス本部長総務部長
〃		松本 昭彦	日立セメント(株)総務部副部長
〃		西野 一	(株)ニシノ清塗工会長
〃		荒澤 俊彦	(株)常陽産業研究所次長
〃		角張 真之	昭和建設(株)総務部長
〃		小山 力	(株)ドコモCS茨城支店法人営業部長
〃		木村 友宣	日本通運(株)水戸営業所長
〃		久保 英士	日本製鉄(株)鹿島製鉄所人事総務室長
環境委員会	委員長	荒井 徹	キャノンエコロジーインダストリー(株)代表取締役社長
	副委員長	金井 達生	日本製鉄(株)鹿島製鉄所安全環境防災部長
	特別委員	増澤 徹	茨城大学工学部長
	委員	石崎 雅人	(株)茨城サービスエンジニアリング営業部長
	〃	堀内 隆太	日立化成(株)山崎事業所環境安全管理センタ主任技師
	〃	高橋 昭哲	日立金属(株)日高工場生産技術環境管理グループマネージャー
	〃	鈴木 良治	(株)日立製作所日立事業所エネルギー環境管理センタ主任技師
	〃	井坂 一二	(株)イサカホーム代表取締役社長
	〃	横井 泰治	東京ガス(株)茨城事業部政策担当部長
	〃	沢田 秀治	(株)ニコン 水戸製作所工務課長
	〃	落合 秀典	(株)カスミ環境社会貢献部マネージャー
	〃	遊馬 一幸	ぺんてる(株)茨城工場画材生産技術室主任専門職
	〃	清水 隆司	(株)めぐみ代表取締役社長
	〃	山内 一夫	関彰商事(株)研究開発担当部長
科学技術委員会	委員長	柳澤 志好	(株)日立製作所日立事業所所長
	副委員長	澤 俊詩	キャノン(株)取手事業所所長
	副委員長	福島 俊司	日鉄テックスエンジ(株)執行役員鹿島支店長
	委員	鈴木 茂夫	(株)東日本技術研究所代表取締役社長
	〃	清宮 正人	(株)ひたちなかテクノセンター代表取締役専務
	〃	伊藤 彰男	(株)ミトリカ営業マーケティング部長
	〃	仁衛 琢磨	ペンギンシステム(株)代表取締役社長
	〃	湯本 祐一	関彰商事(株)取締役常務執行役員安全管理本部長
	〃	斎田 陽介	(株)つくば研究支援センター代表取締役社長
	〃	北島 富雄	北進産業(株)代表取締役会長
	〃	内藤 忠志	HARIO(株)代表取締役副社長
	幹事	稲川 修	(株)日立製作所日立事業所庶務課長
幹事	浅香 哲生	キャノン(株)映像事務機第二工程設計技術部長	
〃	三上 雅祐	日鉄テックスエンジ(株)鹿島支店整備部長	

## 経営教育委員会

第4期 助成金活用セミナーを開催



経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行取締役会長）は、4月25日（木）、茨城県産業会館にて今回で4回目の開催となる助成金活用セミナーを開催。57名が参加した。

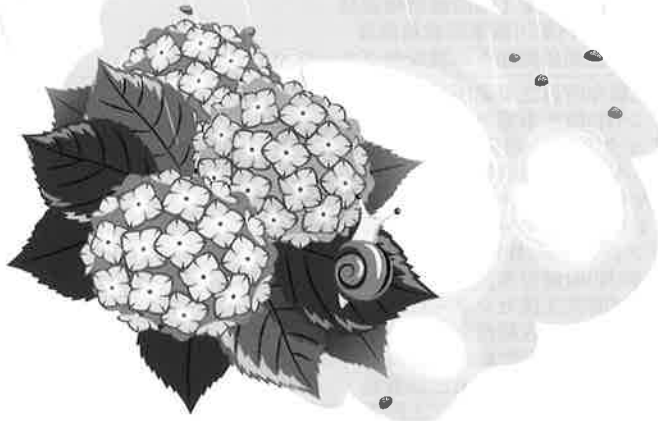
テーマを“最新助成金（厚生

労働省管轄）概要と効果的な活用方法”とし、講師には初回よりご指導頂いている同委員会・副委員長の社会保険労務士法人葵経営代表の皆川雅彦氏に解説頂いた。

セミナーでは、特に中小企業

が自社の社員教育プログラムに掛かる費用と助成金を上手くリンクさせることで、社員教育費用の負担を軽減させている事例や、昨年度より導入された“生産性要件”の定義についてもお話頂いたほか、昨今、不正受給の横行によりその対策が強化されており、支給要件確認のための審査が厳しくなっている点や認定及び申請手続きが年々複雑化している点も解説頂いた。

皆川氏はお薦めの助成金として“キャリアアップ助成金”“人材開発支援助成金”“時間外労働等改善助成金”をあげられ、それらの手続きに向けた留意事項と申請のコツについても詳しく解説を頂いた。



日立地区支部

新たな役員体制にて今後の支部活動について協議を行う

日立地区支部（支部長 館岡司氏 日立埠頭(株)取締役社長）は5月15日(水)、アルフレスコダイニング（日立市幸町）において本年度第1回役員幹事会（幹事長 稲川修氏 (株)日立製作所日立事業所庶務課長）を開催した。

はじめに、館岡支部長が「年号が改まり初めての役員幹事会となります。支部としても新たな気持ちで活動して参りたいと思いますので、役員幹事のみなさまにおかれましては、支部活動につき忌憚のないご意見を頂戴致したい。また本年度より筑波銀行日立支店の益子支店長に幹事にお加わり頂き、支部運営にご協力頂けることとなりまし

たこと御礼申し上げます」と挨拶をした。引き続き、加藤専務理事が新任幹事への感謝の意を表する挨拶を行った。

その後、日立地区支部の今後の活動について協議検討が行われ、以下の通り支部活動を進めて行くこととなった。

- ・東北地区支部との合同講演会については、東北地域の企業が抱える最大の経営課題は「人材不足」および「離職」だと思われるので、講演会のテーマについても「人材」とし、人材採用・育成について造詣が深い講師を招聘する。
- ・視察会については、震災から8年、廃炉作業

が進められている福島第一原子力発電所および廃炉資料館を見学する。

- ・県北・県央ブロック経営者交流会の講演テーマについては、一流のスポーツ選手から、セルフマネジメントやチームワークについてお話し頂く。

他地区支部との合同開催の活動については、他地区支部での検討結果を踏まえ、協議を進めていくこととなった。



常陸・那珂地区支部

大谷明 ひたちなか市長との懇談会を開催

常陸・那珂地区支部（支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役社長）は、4月22日(月)、大谷明 ひたちなか市長との懇談会を常陽銀行ひたちなか支店会議室において開催した。

開会にあたり常陸・那珂地区支部 柳生支部長からご挨拶を頂いた後、前半の部として大谷市長も政治について学ばれた松下政経塾塾頭 金子一也氏に「松下幸之助の経営理念と人材育成」をテーマにご講演頂いた。金子氏の講演では、商売の神様

として称される松下幸之助氏が大切にしてきた事柄とくに経営理念についてエピソードを交え分かりやすくご説明頂いた。

大谷市長からは、現状のひた

ちなかの状況と今後、力を入れていきたい分野の各施策について具体的な数値を交え分かりやすくご説明頂いた。



松下政経塾塾頭 金子一也氏



大谷明 ひたちなか市長



土浦・石岡・つくば地区支部（支部長 田淵道文氏 日立建機(株)執行役専務開発・生産統括本部長）の人事労務研究会（代表世話人 塚崎俊一氏 関東情報サービス(株)代表取締役）は4月24日（水）、ホテルグリーンコア土浦において例会を開催した。

本例会のテーマは「人口減少社会における持続可能な成長のための多様な人材の採用・活躍推進のノウハウを学ぶ」。講師は、グリットグループホールディングス(株)取締役の金田良典

氏にお務め頂いた。同社は、体育会所属学生の就職支援事業を主として設立され、「多様な人材の多様な生き方のためのサービスを提供したい」この想いから、現在まで人材事業

の他に、IT技術研修事業、福祉事業（介護・障がい福祉）、地方創生事業、スポーツ事業、女性活躍推進事業、AIソリューション事業も展開している。

講演では、人口減少社会における「人材の採用と育成」をメインテーマとして、①新卒者、②女性、③障がい者、④外国人それぞれのサブテーマについてポイントを解説頂いた。

講演では、特に近年「売り手市場」が強まる新卒者については「ブランディング」が大切と

強調された。ブランディング＝人の頭の中に作られたイメージは、その人に行動を起こさせる、つまり採用への応募や友人を紹介といった行動であり、費用を掛けずに、工夫次第で大きな成果をあげることが可能。あるホテルの会社説明会では、来場する数十名の応募者の名前をメモなしでスタッフが暗記し、「〇〇さん、おはようございます」と声を掛けることを徹底したところ、求職者の間で「〇〇社は人をとっても大事にしてくれる会社」という噂が広まり、ブランディングに成功しているという。

新卒者に限らず、優秀な人材は常に売り手市場であるので、費用を掛けず、従業員全員で知恵を出し合い採用力を高めて頂きたいと、参加者に奮起を促した。

## 取手・龍ヶ崎地区支部

令和元年度第1回役員幹事会を開催

取手・龍ヶ崎地区支部（支部長 九鬼理宏氏 キリンビール(株)取手工場長）は、5月14日（火）、取手市内において、令和元年度第1回役員幹事会（幹事長 中島健輔氏 日本メクトロン(株)人事部長）を開催した。

はじめに九鬼支部長が挨拶をされ、その後、中島幹事長の進行のもと、主に本年度の支部活動計画(案)について協議検討した。

本年度の支部活動計画では、

総務人事に携わる若手従業員向けの研修会の実施や、先進的な企業経営を学ぶ視察会などを開催していくことを確認した。

その他にも、支部講演会や支部行政懇談会なども引き続き継続して行なうことを確認するとともに、当日お招きする予定の講師選定を行なった。

終了後には、懇親会も併設し、役員幹事会

社から自社・業界・地域の状況等について情報交換を行い、散会した。





県西地区支部（支部長 鈴木浩之氏 日立化成(株)下館事業所長）は、4月17日(水)に筑西市のホテル新東において、平成31年度（令和元年度）第1回役員幹事会（幹事長 岡本俊一氏 関彰商事(株)取締役常務執行役員）を開催した。

鈴木支部長、加藤専務理事兼事務局長の挨拶後、主に本年度の支部役員体制、支部活動計画

などに関する協議検討がなされた。

本年度の支部役員体制としては、新支部長として**大野豊氏 NC東日本コンクリート工業(株)代表取締役社長**にご就任いただき、新たに副支部長として、**青木繁政氏 青木重機運輸(株)代表取締役**にご就任いただいた。また**新幹事として、渡辺進一氏 研精工業(株) 代表取締役社長**、

**野間貴雄氏 (株)野間商店代表取締役**の両名にご就任頂いた。

本年度の支部活動計画では、今年度ホスト支部として開催を予定している「県南・県西・鹿行ブロック経営者懇談会」、また新たな試みとしての「ランチセミナー」を中心とした事業の具現化に向けた協議を行った。

## 新入会員紹介

### 株式会社ロジックデザイン

■代表取締役 長洲 雅彦



**Data**  
所在地/水戸市大工町3-4-24  
TEL/029-300-4728  
業種/コンピュータ  
ソフトウェア開発  
従業員/40名

**Appeal point**

弊社は、平成5年4月に設立致しましたコンピュータのソフトウェア開発会社です。  
私たちの日常生活では、身近な所でコンピュータが稼働して、生活のサポートを行っております。そのコンピュータを動かすソフトウェアの開発が、弊社の業務です。弊社の業務は、お客様の問題解決、業務の効率化のお手伝いをコンピュータで行なう為に、あらゆる視点から考えて最適なソフトウェアを開発することです。これからも、ソフトウェアの開発を通して、お客様の「幸せの創造」のお手伝いを行なって参ります。  
この度の入会を機に、多くのご縁を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

## 引きこもりについて考える

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋

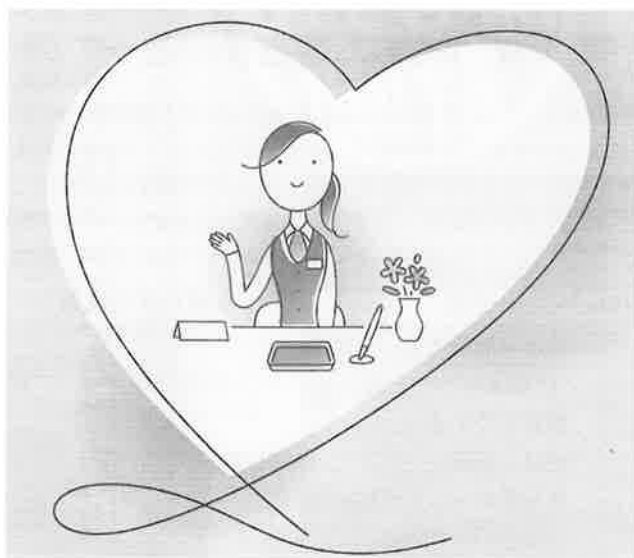
川崎市で児童を襲った事件と元事務次官による息子の殺害事件が相次いで起こりました。この悲惨な事件は、社会に衝撃を与えただけでなく、100万人とも言われる引きこもりの人とその家族にもかなりショックな出来事でした。

一番懸念されるのは、引きこもりの人は犯罪予備軍という偏見が強まることです。もともとあった、働かずに家にいるのは怠けであり、本人や家族の問題という社会の意識と、世間体が悪いという家族の感覚が、状況を見えにくくし、長く引きこもらざるを得ない状況を作ってきました。コモンズは2002年に水戸で引きこもりがちな人が社会に出るきっかけの場としてコミュニティレストランとらいを立ち上げ、その活動は昨年未まで継続しました。しかし16年前と現在を比較して、若者の支援施策は、若者サポートステーションが全国にできたこと以外には、殆ど進展しておらず、国

や自治体の政策の遅れが、数の増大と高齢化を招き、所謂8050問題（80代の親が50代のひきこもった子と暮らしている）となっています。引きこもりの状態の場合、役所に行けたとしても、障害者福祉でもハローワークでも対象にならず支援が受けられません。制度の狭間にあるのがこうした人たちです。制度ができないのは、家族の問題とされてきたからです。私たちは公的資金がない中で15年間、居場所でもあり訓練も受けられる場を継続し、たくさんの若者がそこを通過していきました。今はグッジョブセンターという場を、企業から清掃や荷積などの仕事をいただきながら継続しています。こうした場があると、孤立していた若者や親も情報や仲間が得られます。孤立と心の壁をなくしていくこと、行政、企業、NPO、そして多くの人が連携してこうした居場所や寄り添う人を増やす必要があると思います。

同時に一人一人の意識や見方を変えることも必要です。進学や就職、仕事で挫折を味わったり、居場所がないと感じることは誰にでも、どんな家庭でも起こりえます。引きこもりについては、職場でのストレスがきっかけとなることが少なくありません。以前は家族で行うものとされていた介護が今では社会的に取り組むものとなり介護の制度ができてきました。人生で困難に直面した時や職場に居場所がなくなった時、ケアする仕組みを社会全体で作る必要があります。自己責任主義、一人前にならなければいけない、人様に迷惑をかけてはいけない、そうした感覚に縛られている状況こそ変える必要があります。困った時は誰であれ手を差し伸べる、多様性を認め、その人が今できることで社会に参加でき、誰もが人として受け入れられる寛容な空気と居場所をつくっていくこと、それが今まさに必要なのだと思います。

# 人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも  
ご利用しやすい銀行を  
めざしています。



常陽銀行

MEBUKI  
めぶきフィナンシャルグループ

# 地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、未来に向かって力強く前進いたします。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

筑波銀行

検索する



筑波銀行

Tsukuba Bank



PRIUS PHV



### 茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町 1887 〒310-0851  
TEL 0120-090110  
<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



仕事と生活の調和  
(ワーク・ライフ・バランス)のために、  
年次有給休暇を計画的に活用しましょう。

茨城労働局では、この夏、  
「仕事休もっ化計画」を  
推進しています。

土日・祝日にプラスワン休暇して、  
連続休暇にしませんか？

茨城労働局雇用環境・均等室  
TEL：029-277-8294

### いばらき女性活躍推進会議 会員募集のお知らせ

茨城県では、女性活躍に取り組む県内の企業・事業所を  
官民連携組織である「いばらき女性活躍推進会議」の会員  
企業として募集しています。

女性活躍への第一歩として、是非ご登録ください。

#### ◆会員登録のメリット

- ・ロゴマークを活用し企業イメージアップ！
- ・県のセミナー等の情報提供
- ・県建設工事入札参加資格審査で加点
- ・女性活躍推進法に基づく行動計画策定支援



いばらき女性活躍  
推進会議

#### 【問い合わせ先】

茨城県県民生活環境部 女性活躍・県民協働課  
女性活躍担当 TEL 029-301-2178

詳細は  
「いばらき女性活躍推進会議」  
で検索

[年会費]  
口座振替  
好評  
受付中!

これからもずっと  
銀行に行く手間を  
選びますか?

そうだ。口座振替にしよう。

口座振替はこんなに便利です!!



銀行に行く手間や都度のお振込手続きが不要!!



お振込手数料の負担がなくなります!!



通帳にて引落し内容をご確認いただけます!!



茨城経協

お問い合わせはこちらまで

一般社団法人 茨城県経営者協会

TEL 029-221-5301

事務局担当/石川・澤畑

# セミナー開催・事業案内

開催月	日時／場所	事業内容
7 月	4日(木)～5日(金) 両日とも 9:30～17:00 茨城県産業会館  参加費20,000円／名	<p>◆第18期 ISO9001内部監査員養成研修会</p> <p>講師：株式会社環境経営コンサルティング研究所 取締役社長 味木茂隆氏</p> <p>【内容】</p> <p>(1日目)・ガイダンス、ISO規格の解説、規格の理解度チェック、内部監査とその技法について、不適合判定力チェック、宿題（チェックリストの作成について）</p> <p>(2日目)・ロールプレイング（監査の模擬訓練：チームミーティング、チェックリストの作成、オープニングミーティング、証拠の収集、クロージングミーティング、講評）・修了テスト（理解度チェック）、総評、修了証書授与</p>
	9日(火) 14:00～16:30 茨城県産業会館  参加費1,000円／名	<p>◆令和元年度 環境行政説明会</p> <p>テーマ：茨城県環境行政の重点施策</p> <p>講師：茨城県県民生活環境部環境政策課・環境対策課・廃棄物対策課</p> <p>【内容】</p> <p>【講師①：茨城県県民生活環境部環境政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年3月改定太陽光発電施設の適正な設置・管理に関するガイドラインについて</li> <li>・令和元年度中小規模事業所省エネルギー診断及び省エネ対策設備導入補助金について</li> </ul> <p>【講師②：茨城県県民生活環境部環境対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ浦の水質浄化対策における小規模事業所の排水規制強化について</li> </ul> <p>【講師③：茨城県県民生活環境部廃棄物対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCB廃棄物の適正処理について</li> <li>・茨城県残土条例施行規則の改正について（土壌調査項目の変更）</li> <li>・あなたの土地が狙われています、土地を所有されている皆様へ～廃棄物の不法投棄残土の無許可埋立て～</li> </ul>
	12日(金) 9:30～17:00 茨城県産業会館  参加費8,000円／名	<p>◆第20期 職場リーダーグレードアップセミナー</p> <p>テーマ：部下のやる気と企業の活力を高めるノウハウ～部下の育成コーチングとメンタルヘルスマネジメントを学ぶ～</p> <p>講師：(株)ビジネスラポール代表取締役 鈴木丈織氏</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リーダーの自覚・役割と部下育成のコーチ</li> <li>2. メンタルヘルスマネジメント</li> <li>3. 良いリーダーになるための秘訣を探る</li> </ol>
	17日(水)～19日(金) 島根エリア  参加費96,000円／名	<p>◆国内視察会</p> <p>テーマ：島根県のものづくり、伝統を学ぶ</p> <p>※最先端技術をもつ企業様、日本古来の伝統建築技術を視察させていただきます。</p> <p>【視察先】</p> <p>① 株式会社島根富士通様 ② 出雲大社様 ③ 足立美術館様 ほか</p>

開催月	日時／場所	事業内容
7 月	29日(月) 13:30~16:00 鹿島セントラルホテル 参加費3,000円/名	<b>◆鹿行支部セミナー</b> テーマ：入管法改正を受けた外国人活用のポイントと労務管理実務 講師：①HF(鴻富)行政書士法人 行政書士 松本良太氏 ②社会保険労務士山口事務所 特定社会保険労務士 岩瀬孝嗣氏 <b>【内容】</b> 1. 「在留資格の基礎知識と外国人材活用のポイント」 (1) 在留資格制度の概要 (2) 新在留資格「特定技能」のポイント (3) 在留資格別の外国人材活用方法と注意点 (4) 最近の外国人雇用に関するトラブル事例 2. 「外国人に関する労務管理実務」 (1) 外国人雇用にも適用される労働法 (2) 外国人特有の対応が必要となる社会保険手続き (3) 近年の労働関係法令の改正や取扱い変更による外国人への影響
	30日(火) 15:00~18:30 五浦観光ホテル 講演聴講無料、 パーティ参加の場合 5,000円/名	<b>◆講演会・交流パーティ</b> テーマ：組織作りの本質を宝塚100年の伝統から学ぶ ～宝塚歌劇団の人材育成 人が輝き組織が活きる心と 身体の磨き方～ 講師：元宝塚歌劇団宙組 堀内明日香氏 <b>【内容】</b> <創設者小林一三の信念とドラッカーマネジメント> 歌劇団の創設者小林一三は、「成功の道は信用を得ることである。 どれほどの才能や手腕があっても、平凡なことを忠実に実行できないものには成長はない」と論ず。宝塚式教育理念とドラッカーマネジメントの原理原則を絡めて、セルフプロデュース力の極意を伝える。
	31日(水) 13:30~16:00 ダイヤモンドホール 参加費3,000円/名	<b>◆県西支部セミナー</b> テーマ：働き方改革関連法と実務対応策 講師：森・濱田松本法律事務所 弁護士 荒井良太氏 <b>【内容】</b> (1) 働き方改革関連法が企業・労働者に及ぼす影響 (2) 時間外労働等の上限規制等の内容・施行時期に応じた対応 (3) 年次有給休暇取得の義務化と環境整備への検討ポイント (4) 勤務間インターバル制度への対応と勤怠管理の見直し ほか
8 月	7日(水)~8日(木)の2日間 ※7日は9:50~17:00 ※8日は10:00~17:00 ※二種は2日目13時終了 水戸プラザホテル (参加費) 第一種：25,380円/名 第二種：23,220円/名	<b>◆第9期 第一種・第二種衛生管理者受験のための対策講座</b> 講師：ウェルネット専任講師 松本陽子氏 <b>【内容】</b> <b>(1日目)</b> ※オリエンテーションあり ・出題傾向分析と合格学習法 ・関係法令1(労働安全衛生法) ・関係法令2(労働基準法) ・理解度テストと解説(関係法令) ・労働衛生 <b>(2日目)</b> ・理解度テストと解説(労働衛生) ・労働生理 ・理解度テストと解説(労働生理) ・有害業務・理解度テストと 解説(有害業務)

## 経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

**開催日** 毎週木曜日 ①10:00~12:00  
(祝日は除く) ②14:00~16:00

**会場** 経営者協会・相談室  
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

**申込方法** 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

### Flow chart

**賃金関係** 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?

**労働組合** 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?

**助成金制度** 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか? 活用できる助成金制度について教えて欲しい。

**人事労務** 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

**精神疾病** メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?

**その他** 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関するこの課題全般の悩みについて。

人事労務相談室  
が総合窓口  
(ワンストップ)

課題解決に最適な専門家を紹介

協会・顧問弁護士  
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営  
コンサルタント

その他  
各専門家

お問い合わせ：一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)  
TEL：029-221-5301 FAX：029-224-1109  
E-mail gotou@ikk.or.jp